

令和4年 第1回

愛西市立小中学校  
適正規模等並びに老朽化対策検討協議会

令和4年 第1回

愛西市立小中学校

適正規模等並びに老朽化対策検討協議会

会議録

開会日時 令和4年7月21日(木) 午前 9時30分  
閉会日時 令和4年7月21日(木) 午前11時38分  
場 所 愛西中央図書館 2階 会議室1、2

■出席委員

会 長	岩崎 恭典
副 会 長	水谷 瀧男
委 員	青山 道男
委 員	高見 是久
委 員	水谷 正照
委 員	三輪田 日出夫
委 員	中野 俊郎
委 員	伊藤 悟
委 員	諏訪 淑子
委 員	吉次 章浩
委 員	前田 健治
委 員	井上 貴晶
委 員	高橋 和希
委 員	浅井 敏幸
委 員	里村 昌史
委 員	浅野 忠勝
委 員	下里 亘
委 員	中野 利哉
委 員	富山 美奈子
委 員	伊藤 基成

■事務局	教育長	平尾理
	教育部長	三輪進一郎
	企画政策部参事	伊藤孝一
	教育部次長	小島洋志
	学校教育課長	猪飼政和
	学校教育課主幹	吉田光男
	学校教育課課長補佐	坪井靖史
	学校教育課主事	伊藤尚記

■市長部局	企画政策部危機管理課長	大野敦弘
	市民協働部市民協働課長	丹羽久美

■傍聴者 3名

1 開会

2 あいさつ

3 会長、副会長の選出

4 議事

(1) 協議会設置の目的について

(2) これまでの経緯と現状

①検証委員会の提言と基本方針（改訂）について

②基本計画の改訂に向けて

(3) 基本計画策定のプロセスと情報公開

①本協議会の協議内容等の公表

②基本計画（案）策定後の動き

(4) その他

5 閉会

<p>(事務局)</p>	<p>1. 開会 開会宣言</p>
<p>(教育長)</p>	<p>2. あいさつ</p> <p>本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。また、皆様方には、平素より市教育委員会の教育行政にご理解とご尽力をいただきありがとうございます。</p> <p>さて、市内の小中学校の適正化については、平成 26 年から学識経験者や市内の有識者にご検討いただき、その後、策定した基本方針に則り、基本計画の提案をいただいております。ただ、ここ 2、3 年の間に市内における新生児の減少数が当時に比べ想定を超えるものがありました。令和元年度、令和 2 年度の減り方は、2 割から 2 割 5 分市内から減っている状況です。また、子どもたちの学習自体も変化しており、例えば、一人 1 台タブレットを与え、ICT 教育が進められております。学習指導要領もかなり変化しており、主体的・対話的で深い学びや協働的な学びや多様な価値観との出会いが求められています。少子化については、子どもたちの教育環境に大きな影響があることを教育委員会としては、懸念しているところであります。</p> <p>このような変化を踏まえて、教育委員会としては、これまでの基本方針や基本計画の提案を改めて検証しなければいけないと考え、昨年度 12 月に適正規模適正配置等の検証委員会を設置し、3 月にご提言をいただいております。提言内容は、3 点ございますが、特にその中でも「中学校における小規模校の課題解消を優先的に着手すべきである。」といただいております。教育委員会においても最重要課題であると考えております。</p> <p>つきましては、子どもたちのより良い教育環境について十分ご協議いただき、中学校の適正化等に連動する小学校の在り方についても一定の方向をお示しいただきたいと思っております。本協議会の最終目標は、基本方針に基づき、新たな基本計画のご提案をいただくことでもあります。新たな基本計画のご提案をいただくにあたって、市民の皆様の合意形成を図るために、常に検討状況を速やかに公開するとのご提言もいただいております。地域における学校の存在意義につきましてもご協議をいただきたいと思います。また、学校の老朽化対策委員会からも早くに建てられた校舎については、更新時期を迎えつつあるとのこと、それから、これからの学習環境に応じた施設機能が求められていることから、早急に解決を行うよう、今年 3 月にご提言をいただきました。</p> <p>本協議会においては、学校の再編に加え、老朽化対策につきましてもご協議いただき方向性を示していただきたいと思います。いずれにしま</p>

	<p>しても、学校の再編については、様々な思いやご意見をお持ちであるとは思いますが、委員の皆様方におかれましては、愛西市全体の問題と捉えていただき、将来の社会を担う児童生徒は基より、これから愛西市で生まれてくる子どもたちの学びや育ちについても視野に入れていただき、ご教授いただければと思っております。なお、この問題は、教育委員会だけでは、前に進むことができません。愛西市全体の問題としてどのような課題が存在するのかを改めて認識する必要があると思えます。本協議会には、教育委員会以外の市長部局からも関わりの深い担当職員を傍聴という立場で同席いただいております。傍聴という立場ではございますが、皆様方のご意見に関しては、記録に残していただき、今後に備えたいと思っております。ご理解とご協力をお願いし、あいさつとさせていただきます。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>3. 会長、副会長の選出      会長、副会長を選出する前に本日最初の協議会となりますので自己紹介をお願いいたします。      (各自自己紹介)</p> <p>それでは、会長、副会長の選出に移ります。      委員の皆様方から会長、副会長へのご推薦をどなたかございませんでしょうか。</p>
<p>(委員)</p>	<p>会長を岩崎恭典様、副会長を水谷瀧男様にお願いしたいと思っておりますがいかがでしょうか。</p> <p>《全委員異議なし》</p>
<p>(事務局)</p>	<p>ありがとうございます。では、会長には、岩崎恭典様、副会長には、水谷瀧男様にお願いしたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、会長が決定いたしましたので、ご挨拶をいただいた後、議事の進行につきましてもお願いしたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。</p>
<p>(会長)</p>	<p>私は、元々地方自治を勉強しておりますので、そのフィールドの一つとして愛西市の課題についても検討させていただいているわけではありますが、学校教育についても三重県内で色々と勉強させていただきまし</p>

<p>(事務局)</p> <p>(会長)</p>	<p>た。三重県伊賀市での小学校中学校の再編問題、三重県の教育委員時代での県立高校の統廃合の問題に取り組んでまいりました。愛西市から一歩離れた立場から皆様のご意見を引き出し、合意形成を図っていききたいと思っておりますので、ご協力をお願いします。</p> <p>ただ、前提となるのが、平成 26 年の段階に比べ新生児の数がこのところとんでもなく減ってきているとの話がありました。さらにコロナで昨年生まれた子どもが全国で 81 万人であるとのこと。今年成人を迎えた子どもが 120 万人でありますので、3 分の 2 まで 20 年間で減ってきてしまっている状況であります。今後の愛西市の学校の在り方についても大きな影響を及ぼさないわけがないだろうと思います。その意味では、小学校に関しては、今年この学校区で生まれた数はおおよそ 5 年後、6 年後の子どもの数になっていくわけでありますから、ほぼ確実に将来が見通せると思います。しかし、愛西市全体の子ども数を増やすとか、外から呼んでくる方法はないわけではないけれど、それを行うには、個人に対して支援をしていくことへの妥当性であるとか、あるいは、愛西市の特定の地域について支援をしていくことに関して、愛西市の他の地域から合意を得られるかどうか議論していく必要があるのかもしれない。</p> <p>そうは言いながらも昨年度の基本方針の見直しの中で、施設の老朽化についてもシビアな問題だなと思います。ですので、今いる、これから中学校の教育を受ける子どもたちのためにも中学校の施設はどうあるべきなのかというところを検討していく必要があると基本方針の見直しの際には、議論させていただきました。</p> <p>今回は、それを受けまして、適正規模等並びに老朽化対策検討協議会という形で老朽化については、優先順位を中学校に関してはできるだけあきらかにし、そして、中学校の在り方についても議論の中で愛西市全体としての見方を皆さんの合意を得ていければと思っています。どうか、よろしくお願いします。</p> <p>では、議事に入らせていただきます。</p> <p>4. 議事</p> <p>(1) 協議会設置の目的についてご説明をお願いします。</p> <p>資料 1 について説明</p> <p>委員の皆様ご意見等ありますでしょうか。</p>
--------------------------	---

(委員)	確認ですが、検証委員会のときに提言を出させていただきましたが、3月25日以降に基本方針がどのように決まったのか、また、パブリックコメントの意見の募集をしていたと思いますが、その日付等を教えてください。
(事務局)	(2) これまでの経緯と現状でご説明させていただきます。
(会長)	他にご意見等ありますでしょうか。
(委員)	《意見なし》
(会長)	それでは、(2) これまでの経緯と現状についてご説明をお願いします。
(事務局)	資料2について説明
(会長)	議題の①検証委員会の提言と基本方針(改訂)についてご意見等ありますでしょうか。
(委員)	令和4年5月に行ったパブリックコメントを置いておいて、臨時教育委員会で基本方針の改訂をしてしまったということですか。
(事務局)	パブリックコメントの意見を踏まえて、臨時教育委員会で修正等を行い基本方針の策定をさせていただきました。
(委員)	ということは、パブリックコメントの意見が反映された形で新しい基本方針の改訂をなされたということでしょうか。
(事務局)	すべてのご意見を反映できたわけではございませんが、ホームページにおいて意見の回答をさせていただいていると思います。
(委員)	検証委員会でも述べたとおり、パブリックコメントは早い段階からやった方がよいと申しあげたとおり、実施していただいたことはよかったです。しかし、パブリックコメントをやったからには、意見の出させっぱなしはよくないと思います。ホームページを確認していたところ、6月末までに回答する予定となっていました。公表されていますか。
(事務局)	申し訳ございません。確認したところ、まだ公表できていないとのこ

<p>(委員)</p>	<p>とです。大変申し訳ございませんでした。</p> <p>パブリックコメントを早くやったのに、それでは効果がなくなってしまいます。また、密室で改訂版が作られたと思われてしまいます。市民の意見を聞いたなら、その結果、市としての回答はこうですと回答を出すべきだと思います。今回は、パブリックコメントとしては未完成のままだと思います。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>委員のおっしゃるとおりだと考えます。改訂版を決定するにあたって、意見はすべて教育委員会へ諮らせていただき、修正すべき点は、修正しなければならないと教育委員からも意見をいただいております。その意見をいただいたものを今回改訂版として策定させていただいておりますので、早急にいただいた意見と回答について公表できるように準備いたします。申し訳ございませんでした。</p>
<p>(会長)</p>	<p>当然、パブリックコメントですので、基本方針の文言を変えた部分と変えてない場合は、なぜ変えていないかを理由を付けた対応の表はできているはずですが、ホームページには意見だけ挙げていますか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>意見と回答を合わせて公表することになっています。</p>
<p>(会長)</p>	<p>早急にしていただくようにしてください。ホームページへの公開が遅れていることは事実ではございますが、一応手続き的には教育委員会へかけられて改訂版を策定されているとのことことです。</p>
<p>(委員)</p>	<p>6月末公表予定となっているので、今日は7月21日です。この責任はだれがとるのですか。まあいいですけど。</p> <p>結局、心配するのが、パブリックコメントの信頼度が崩壊してしまいます。次またパブリックコメントをしたときに無視されるのではないかと市民が思ってしまうので、後に尾を引くと思います。そういった心配が懸念されます。</p>
<p>(会長)</p>	<p>ありがとうございます。今後の計画を作る際のプロセスのときには、大切にしなければならないと思います。パブリックコメントは大切にしてください。</p>
<p>(委員)</p>	<p>愛西市適正規模等検討協議会からの3つの提案について統合案1で進</p>



<p>(教育長)</p>	<p>んでいたと思いますが、なぜ統合案 1 で決まっていたのでしょうか。また、立田・八開を統合する話になったのでしょうか。他にも愛西市の学校はあると思いますが、過程を教えてください。</p> <p>まず、統合案 1 についての優位性は、子どもたちが安定的に適正規模に近づくことが一番だったと考えます。統合案 3 については、立田・八開地区それぞれで小中一貫校という形だと思います。これは、平成 26 年から検討いただいた適正化という視点から見ますとやはり単独学級になってしまうということ、特に中学校において苦しいとの判断だったと思います。統合案 2 について立田・八開地区でそれぞれ小学校 1 校ずつ、立田八開地区で中学校 1 校ということでした。当時の検討協議会の中では、それぞれに利があるとのことでした。教育委員会としては、やはり立田八開地区を統合して、一番安定した適正化が図られると考え、採択いたしました。</p>
<p>(会長)</p>	<p>ありがとうございました。それが当時の教育委員会の考え方だったと思います。後ほど議論にあると思いますが、地域の子どもの数を見据えると、その当時の想定をはるかに下回る数値で少子化が進んでいる状況がありましたので、改めてこの基本方針を見直しましょうということので昨年度会議が招集された形となります。</p>
<p>(委員)</p>	<p>前回の協議会に地元の代表者として参加しておりましたが、まず愛西市全体のことを考えて、その中で現状一番少ない立田八開地区について考えていくことに絞られました。立田八開地区の問題を考える中で統合案 1 から 3 が検討協議会の案を教育委員会へ出しました。そして教育委員会の中で案 1 を進めていこうとなったわけです。そのときの時点では、立田八開地区の問題が議論されていたわけですが、佐屋佐織地区については人数のことも考えてよいだろうとのことでした。現在は、ほかの地区も同じ状況が生じはじめていますので見直さなければならないとのことでの今の流れになったと思っています。</p>
<p>(会長)</p>	<p>他にご意見等よろしいでしょうか。</p>
<p>(委員)</p>	<p>《意見なし》</p>
<p>(会長)</p>	<p>では、②基本計画の改訂に向けての説明をお願いします。</p>

(事務局)	資料 2、資料 3 について説明
(会長)	ありがとうございます。 委員の皆様ご意見等ありますでしょうか。
(委員)	数字の確認ですが、資料 2 の 17 ページですが、中学校の学級数について 3 年生まで 35 人学級で計算されていますでしょうか。
(事務局)	数字については、確認させていただきます。
(会長)	他にご意見等ありますでしょうか。
(委員)	小規模校のデメリットだけが書かれていますが、今実際に通っている子どもの育っている環境を見て、先生が目が行き届いているので、それほどデメリットとして感じていません。人口減少とともに難しくなってくるとは思いますが、なぜここにデメリットしかないのかなと思います。考えられるメリットはもっとあると思います。
(会長)	事前に送付されている資料の基本方針 5 ページの中にメリットとデメリットを比較検討しながら、特に課題となる中学校のデメリットについて 6 ページに記載させていただいております。 当然メリットはあると考えております。ただ、それを上回る小規模校のデメリットがあるのではないかという判断をしております。
(委員)	資料 2 のところでデメリットしか載せてないのが、廃校するところありきで考えているのではないかと思ってしまう。八開中学校が一番少ないので一番影響を受ける地域と思うのですが、なんとかする方法がないという結論ありきで考えているところが残念だと思いました。
(事務局)	資料の作り方で誤解を招く作成をして申し訳ございませんでした。 会長に説明をしていただいたとおり、基本方針の見直しにあたりまして検証委員会の中でも小規模校のメリットとデメリットについて細かくご検討いただきまして、表現としては、メリットとデメリットは両方あるものについては、小学校も中学校にも同様にみられるものとして挙げさせていただき、デメリットの中でも特に中学校にみられるものが多いということで、基本方針でも中学校のデメリットを特出しさせていただいております。

<p>(会長)</p>	<p>今回、基本方針の中で小規模な中学校のデメリットを解消するのが優先であるという考えを基に資料を作らせていただきましたので、中学校のところだけ抜き出す形の資料の作り方をさせていただきました。申し訳ございませんでした。</p> <p>一応メリットとデメリットを検討して、特に中学校の場合には、あのかのときの議論でもありましたが、専科教員がちゃんと配置できるのかというところが教育の質の担保としてできるのか、また、小規模な中学校から高校に進学したときに高一ギャップという懸念があるのではないかということもありました。部活動についても維持できるかどうかの点についてもですが、最近文科省が部活動の指導者を地域に求めると言い出していますが、小規模校の地域で部活動の指導をしてくれる人材が見つかるかという懸念材料だと思います。そういった形で中学校の小規模校でのデメリットの影響が大きいのではないかという考えでありました。それに加え、施設の老朽化とリンクさせたときにどんな計画を作ることができるかというのがここでの議論であります。</p>
<p>(委員)</p>	<p>タイトルについてですが、「基本計画の改訂に向けて」とありますが、基本計画は、策定されていないので、「基本計画の策定に向けて」の表現が正しいと思います。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>委員のおっしゃるとおりです。</p>
<p>(委員)</p>	<p>かつて、基本方針は策定されていました。検証委員会では、一字一句まで検証し、基本方針の改訂案を作成しました。そこから、今日までにパブリックコメントを行い、臨時教育委員会で基本方針の改訂を行いました。基本計画は、提案までにはいただいている状態で、教育委員会が地域に説明を行っている最中に止まったということだと思います。検証委員会では、すべて検証したわけではなく、基本方針だけしか検証していませんので、その次の基本計画の提案であるとかは、検証していませんので、そこを間違えると私たちが行うことが狂ってしまいますので、基本計画はできていません。今から基本計画は策定していくということになります。</p>
<p>(会長)</p>	<p>新たな基本計画を作っていくことが我々のミッションになりますので、改めて確認したいと思います。</p> <p>他にご意見等ありますでしょうか。</p>

<p>(委員)</p>	<p>地域説明会を聞いていたのですが、その話がどこまで進んで、どうなっているのかわからないのですが、案としてあったものは、見直すといくことでしょうか。その案はなくなったということでしょうか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>現時点ですが、基本方針は改訂版として、確定したものはあります。平成 27 年にいただいた基本計画の提案は、それに基づいて事業は動いていない状況です。あくまで、今回の検討協議会によって、新しい基本計画の提案を策定していただく予定ですので、今後新たな基本計画の提案を基に動くこととなります。地域説明会等で説明させていただいている内容は、ストップしている状態です。</p>
<p>(委員)</p>	<p>ストップというか、白紙になっているということですか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>白紙というよりも、上位の基本方針が変わってしまったので、その当時の基本計画の提案自体をどこかのタイミングでなくなったとするわけではありません。</p>
<p>(委員)</p>	<p>基本方針自体が変わってしまったので、それによって策定していたことは、当然意味をなさないわけですが、議論することもなしとしてよろしいでしょうか</p>
<p>(事務局)</p>	<p>この計画は、動いていない状態です。前回の検証委員会で見直すように提言をいただいていますので、新しい基本計画を提案いただくことになり、改めて地域の皆さんに説明することとなります。</p>
<p>(会長)</p>	<p>基本方針にも書いてありますが、情報を公開し、地元と協議していかなければならないと挙げてありますが、そのときに平成 28 年、29 年のときの説明はなんだったのかというのを求められると思いますので、現状、中断なのか白紙なのか新たな計画をこれから作っていくものが変わるものなのだと明確に言うことが地域の皆さんへの情報公開の第一歩になると思います。ぜひ、丁寧な資料を作成してください。</p> <p>他にご意見等ありますでしょうか。</p>
<p>(委員)</p>	<p>八開地区の人たちは、一旦学校がなくなるのは、なくなったと思っています。今こうやって、新しくゼロベースで作っていくのであ</p>

<p>(事務局)</p>	<p>れば、今までの計画は一旦白紙にしますということをお知らせしてほしいと思います。本当に住民は、誰も知らなくて、話を聞いてみると、「大丈夫なんじゃないの」とお聞きするので、なんとか知らせることはできないでしょうか。</p> <p>中断している以外に、事務局からはお答えすることはできません。</p>
<p>(会長)</p>	<p>客観情勢としては、平成 26 年からだいぶ変わってきたというのは、事実だと思います。地元の方々はそのなにごとに子どもの数を意識されていないと思うのですが、今日いただいた資料の学校区別の未就学児童の数を見ると、小学校もかなりきつい状況でそのあとの中学校で専科教員を配置できるかどうか考えなければいけない。中学校がどうなっていくのかというのは、「大丈夫だ。」という議論にはならないと思います。「大丈夫だ。」じゃなくて、八開だけでなく、愛西全体で中学校がどうあるべきかを優先順位を付けていくのがこの会議の役割だと思います。優先順位を付けながら、子どもの教育環境を、学級規模をある程度維持しながら、施設の老朽化も含め、基本計画をまとめていくことになると思います。どの地区も検討対象外というのはありえないということです。基本方針を考える上でも愛西市全体で考えるしかないとのことでした。基本計画は、その意味でも、シビアな議論もあるだろうと思っています。地元の人がかもう大丈夫だと思っているのであれば、事前のアナウンスは必要なのかもしれません。</p>
<p>(教育長)</p>	<p>ゼロベースにするよりも現状が変わってきたと考えていただきたいと思います。2 歳児を見るとわかると思います。</p> <p>我々が今まで説明会に行った時点と子どもの数が減ってしまったということ。これから小学校に入学し、中学校に行くとするこの数がおそらくそのままいくだろうと予想されます。検証委員会では、中学校が問題だと第一にありました。それを受けて、教育委員会が基本方針を改訂し、この会を設けました。ゼロベースではなく、大きく舵を切らないといけない状況です。白紙になりましたとお知らせするよりもこの会議でどういう風になるか逐一情報公開をしていきたい。ここで、決まらないことは、なかなか情報公開しづらいものがあります。そういったことをご理解いただき、ここでどのような形で結論がでるかについては、地域に説明する前に発信ができると思います。</p>
<p>(会長)</p>	<p>他にご意見等ありますでしょうか。</p>

<p>(委員)</p>	<p>以前の基本方針や基本計画の提案や地域説明会については、老朽化に関しては触れられていませんでした。今回新しいものには、初めて反映されています。ですので、地元への説明としては、相当慎重に明解に行く必要があると思います。この会では、明解に説明されていないので、地元へも明解に言っていけないと伝わらないと思います。</p> <p>パブリックコメントを出すときは、意見に対してきちっと回答を公表する必要があると思います。</p>
<p>(会長)</p>	<p>最初の一步が大切だと思います。パブリックコメントの件と前回の会議の話はどういう風に見直すのか市としてどういう風に明確な資料を作るかだと思います。</p> <p>そういう意味では、施設の老朽化が前回は入っていないということと未就学児の数の話が平成27年から大きく変わっていることを全市に広報する必要があると思います。</p> <p>他にご意見等ありますでしょうか。</p>
<p>(委員)</p>	<p>《意見なし》</p>
<p>(会長)</p>	<p>(3) 基本計画策定のプロセスと情報公開についてご説明をお願いします。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>資料4について説明</p> <p>議事録の公表について、本来委員全員の承認を得て公表すべきですが、時間がかかるため、会議概要のみ先に公表するか会長及び副会長のみ承認をいただき公表すべきかどうか協議をお願いします。</p> <p>本協議会において提案いただく基本計画案を教育委員会に諮り、教育委員会で基本計画案の承認をいただきたいと思います。その上で先の検証委員会でも提言をいただきましたとおり、地域との合意形成を行う必要がありますので、各地区の方に基本計画案に対して意見をいただく場を設けてはどうかと思っています。各地区において代案や修正案をいただいた上で改めて教育委員会に諮り、基本計画案の決定を行いたいと思います。</p> <p>その後、各地区へ基本計画案のご説明をさせていただき、再度ご意見等を伺った上でもう一度教育委員会へ諮り、基本計画の策定とさせていただきたいと思っております。</p>

<p>(会長)</p>	<p>ありがとうございます。協議事項は、2点であります。</p> <p>議事録の公表の仕方についてですが、詳細版と概要版を次回までではないにしろ、本協議会へ承認を得てから公開でよろしいでしょうか。</p>
<p>(委員)</p>	<p>《異議なし》</p>
<p>(会長)</p>	<p>もう一つの協議事項が地域との合意形成について、基本方針の改訂にあたり、重要であると検証してまいりましたが、どういう風に議論されるのかは、この協議会で決定された内容によると思いますのでわかりませんが、どちらにしても地区の協議会のような地域の方の意見を聞く会というのは、必要だと思いますが、皆様の総意として決定してよろしいでしょうか。</p>
<p>(委員)</p>	<p>《異議なし》</p>
<p>(会長)</p>	<p>ありがとうございます。では、本協議会の議事録の詳細版と概要版を作成し、公表をできるだけ早くすること。今後の基本計画策定までの過程については、地域のみなさんの意見を聞く会を設けていくということでこの協議会で決定とさせていただきます。</p> <p>他にご意見等がありますでしょうか。</p>
<p>(委員)</p>	<p>期間的な計画、いつまでに計画を決定するのか、予定はありますでしょうか。あまり長すぎると、検証委員会が終わったあとも色々な制度が変わって、対応できなくなると思います。部活動のことや津島高校の中高一貫教育等だいぶ変わってきています。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>時期については、本協議会は9月末まで、地区での協議会等は、今年中には開催していきたいと事務局としては考えております。最終的な基本計画案の地区説明会を今年度中に行い、今年度中には、基本計画を策定していきたいと思っております。委員がおっしゃられたとおり、早急に進めたいと事務局としても考えております。</p> <p>人口増加施策等は、この場でなかなかお答えすることができませんが、情報提供等行っていきたいと思っております。</p>
<p>(委員)</p>	<p>学校は、地域の行事の場でもありますので、地域の説明会に入るまで</p>

<p>(教育長)</p>	<p>には、防災であるとかの拠点をどうするのかであるとかを説明できるまでにはしておかないといけないと思います。今年度中に行うのであれば、地域から学校はなくなるけれども、防災の面は、こうなりますよというようなことも説明する必要があると思います。そうしないと地元の合意をスムーズに得られないと考えます。ですので、市長部局も同時並行して議論していただく必要があると思います。</p> <p>人口増加施策については、教育委員会としては、回答しづらいですが、大事なことなので総合教育会議の場で伝えていかなければならないと思います。</p> <p>地域における学校の意義については、念頭に入れて行うわけですが、教育委員会が行うには、限界があります。今日は、関係課長も出席しておりますが、そちらからも働きかけをお願いしたいと思い、同席していただいております。</p> <p>この場では、子どもの学びや育ちをメインテーマに考えていただきたいと思っておりますので、そちらを最優先にさせていただきたいと思っております。</p>
<p>(会長)</p>	<p>ありがとうございます。コミュニティの関係と防災の拠点となる施設となりますので、今日は来ていただいております。そして、ここでどんな議論がされているのかは聞いていただこうと思っております。議論している内容を持ち帰っていただいて、総合教育会議であるとか首長部局の会議でもんでいただきたいと思っております。</p> <p>他にご意見等ありますでしょうか。</p>
<p>(委員)</p>	<p>《意見なし》</p>
<p>(会長)</p>	<p>では、(4) その他について進めていきたいと思っております。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>今後の協議会開催スケジュールについてご説明いたします。</p> <p>第2回令和4年8月4日(木)午後2時～</p> <p>第3回令和4年8月18日(木)</p> <p>第4回令和4年9月5日(月)</p> <p>第5回令和4年9月21日(水)</p> <p>第6回令和4年9月29日(木)を予定しています。</p>
<p>(会長)</p>	<p>ありがとうございます。</p>



<p>(委員)</p>	<p>なにかご意見等ありますでしょうか。</p> <p>次回の資料について中学校から中学校の距離がわかる資料をご準備いただけますでしょうか。</p> <p>中学校同士や小学校同士の距離や時間がわかると現実的な統合の検討がしやすいと思いますのでよろしく願いいたします。</p>
<p>(会長)</p>	<p>基本方針の資料にもついていますので、そちらの図も参考にさせていただければと思います。</p> <p>次回ぐらいには、老朽化の優先順位付けの話や今後の子どもの数を見据えて全市で中学校がどうあるべきなのかというのを具体的な計画の基になるようないくつかのパターンを示していただくとよいかと思います。</p> <p>次から、基本方針に従って、中学校から優先に議論していくということでもよろしいでしょうか。</p>
<p>(委員)</p>	<p>《異議なし》</p>
<p>(会長)</p>	<p>では、事前に資料を送っていただければと思いますのでよろしく願いいたします。</p> <p>5. 閉会</p>